

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2022年12月号

CONTENTS

- ◇ 【 バンコク通信 】～インターネット事情とSNS P.2～
- ◇ 【 アセアン駐在員コラム 】 P.5
- ◇ 【 アセアン各国ニューズピックアップ 】 P.6
- ◇ 【 アセアン・インド休日情報 】 2022年12月～2023年2月 P.7
- ◇ 【 めぶきFGアジアネットワーク 】 P.8～

常陽銀行シンガポール
駐在員事務所
10 Collyer Quay, #09-07A,
Ocean Financial
Centre,
Singapore 049315
TEL:65-6225-6543
※2022年7月4日より上記住所
に移転しております。

足利銀行バンコク
駐在員事務所
689, Bhiraj Tower
at EmQuartier,
27th Floor, Room
No. 2714, Sukhumvit
Road, Klongton-nue,
Wattana, Bangkok
10110, Thailand
TEL:66-2-261-2852

常陽銀行ハノイ
駐在員事務所
5th Floor, Sun Red
River,
23 Phan Chu Trinh
Street,
Hoan Kiem District,
Hanoi, Vietnam
TEL:84-24-3218-1668

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。

【バンコク通信】 インターネット事情とSNS

足利銀行バンコク駐在員事務所
五津 徳昭

～はじめに～

タイでは、インターネットのインフラ整備が進み、ユーザーも増加し、世界の中でもインターネットを長時間利用する国となっています。また、利用人口の増加に伴い、SNSの利用者も拡大しています。そこで今回のバンコク通信では、タイのインターネット事情とSNSの利用状況、デジタルマーケティングについてレポートいたします。

1. タイのインターネット事情

タイのインターネット利用率は77.8%（2021年）であり、タイの全人口約6,617万人からすると約5,148万人がインターネットを利用しています。これは東南アジアでトップクラスの利用人口であり、前年比で10.8万人増加しています。1日あたりのインターネット利用時間は約12時間と、利用時間の調査が開始された2013年の1日平均4.36時間と比較すると大幅に増加し、世界の中でも利用時間が非常に長い国となっています。日本のインターネットユーザーの平均利用時間約4.5時間と比較しても、タイのインターネットユーザーは倍以上の時間をインターネットに費やしています。

【図表1】 タイのインターネット利用時間の推移



仕事中にスマートフォンを使用しているタイの日常（筆者撮影）

利用時間増加の要因としては、インターネットのインフラ整備が進みアクセスが容易になったこと、オンラインによるサービスが増加したことがあげられます。バンコクでは、駅や観光地、飲食店など多くの場所で無料Wi-Fiが利用でき、ATMでの現金の引出もキャッシュカードが不要で、オンラインで完結できるなど、日本以上にオンラインサービスが普及しています。また、会社の従業員やショップ店員などが暇な時間にスマートフォンを利用している姿をよく見かけることがあり、インターネットの利用に関しては文化の違いもあると考えられます。

2. SNSの利用状況

タイにおけるインターネットの利用目的は、「SNS」が最も多く、インターネットユーザーの95.3%が利用しています。さらに「動画の視聴」や「情報検索」が続きます。

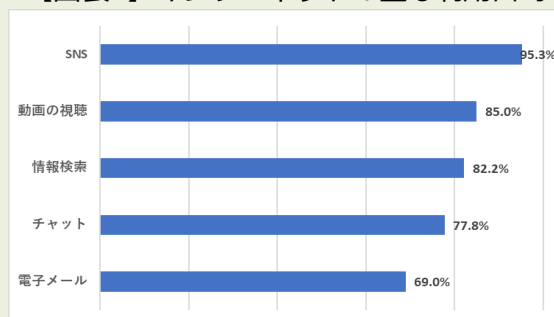
インターネットの利用目的はSNSが圧倒的に多く、インターネット利用時間約12時間のうち、約7時間という長い時間をSNSに費やしていることもタイの特徴です。

各SNSの利用率をみると、日本ではLINEやInstagramの利用率が高いのに対し、タイではFacebookやLINEの利用率が高く、利用率からするとSNSユーザーの9割以上が利用しています。

その中で、利用率がトップであるFacebookでは、「Facebookページ」（旧ファンページ）に企業ホームページ等では得られないキャンペーン等魅力的な情報が多く掲載されており、タイで人気な理由の一つとなっています。

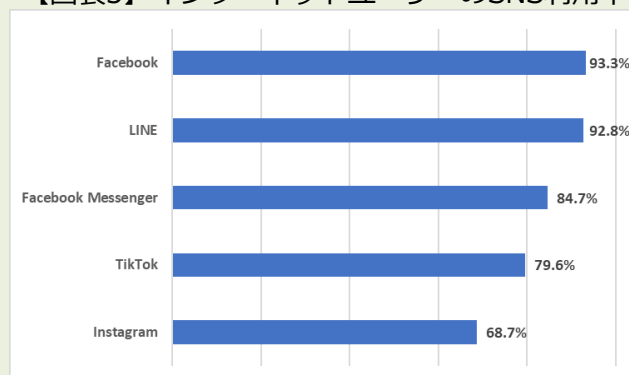
またタイでは、パソコンが普及するより前にSNS利用に便利なスマートフォンが普及したため、インターネットユーザーのほとんどがいずれかのSNSを利用しています。さらに、日本で徐々に解禁されている副業は、タイではもともと禁止という風潮がなく、個人間においてもSNSがビジネスに利用されており、利用率が高い理由とも言われています。

【図表2】 インターネットの主な利用目的



出所：電子取引開発機構（ETDA）

【図表3】 インターネットユーザーのSNS利用率



出所：電子取引開発機構（ETDA）

3. デジタルマーケティング

日本ではテレビや雑誌を広告や販売促進に利用することが多いですが、タイでは早くからSNS上で広告や販売促進が行われました。実際に、SNS利用率の9割を超えるFacebookやLINEでは多くのデジタルマーケティングが行われています。また、タイにおいてLINEはコミュニケーションツールであるだけでなく、LINE Pay（デジタルウォレット）やLINE Today（ニュース配信）、LINE Wow（宅配サービス）などさまざまなサービスを提供するプラットフォームとして認識されており、それぞれのプラットフォームを広告にうまく活用することで、より多くの利用者に対するアプローチが可能となっています。



インフルエンサーの起用

タイにおいて、SNSでの広告や販売促進では、日本と同じように芸能人やスポーツ選手を起用することがありますが、インターネット上で大きな影響力を持つブロガーや一般人をインフルエンサーとして起用することも多く、タイのデジタルマーケティングの特徴となっています。タイのインフルエンサーは、ターゲットとしている消費者層がはっきりとしているため、企業側もインフルエンサーを起用しやすいようです。

また、従来のターゲットを限定しないマーケティング（マス・マーケティング）と比較し、各インフルエンサーのファンに直接商品を訴求することができ、ターゲットの絞り込みだけでなく、消費者も商品を受け入れやすい傾向にあります。

インフルエンサーを活用した日系企業の事例

タイに進出している日系企業も実際にインフルエンサーを起用したマーケティングを行っています。特に分野としては自動車や化粧品、食品分野で多く行われているようです。

従来、日本の化粧品は、タイ人のなかでは「高価格・高級・高品質」で富裕者向けのイメージがありました。しかし、ある日本化粧品メーカーは、自社の展開する「お手頃・高品質」というプチプライメージを押し出すため、若年層に支持されるインフルエンサーを起用し、若年層の認知度向上につなげました。公式Facebookでは、タイ人インフルエンサーとコラボレーションしたコンテンツが多く投稿され、閲覧数も多く、ターゲットとしている若年層に人気のブランドとなっています。



タイでは、SNSとならびYouTube等の動画の需要も高く、タイ人の動画視聴時間も長いことから、動画マーケティングも有効な手段となっています。動画はタイ消費者にとって、ブランドやメーカーのメッセージ、商品の情報が伝わりやすいため、認知度の向上に役立っています。

さらに、動画の魅力をあげるためSNSと同じようにインフルエンサーを起用することで、消費者となるファンに直接商品をアピールすることが可能となります。動画はインフルエンサーが会話形式で商品の特徴を伝えることができるため、ターゲットとなる消費者へ直接的なアプローチができることで、より効果的となります。特定の層をターゲットとしている場合、その層にアピールできるインフルエンサーを起用することがタイでのデジタルマーケティングにおいて重要です。

4. おわりに

タイ国内市場をターゲットとした商品販売を検討する日系企業も多く、販売戦略を立案する際は、消費者の特性や媒体の特徴を理解することが重要です。そのなかで、インターネットの利用時間も長く、SNS利用率の高いタイでは、デジタルマーケティングが有効な手段となっています。今後も変化するSNSやデジタルマーケティングについて、タイでの商品販売等に有益となる情報を発信できるよう注視していきます。

【シンガポール】

～Treasure (トリートシュア) 食品ロス削減アプリ～

近年、シンガポールでは、若者を中心に食品ロス削減アプリの利用者が急増しています。本アプリを利用することで、ホテルのバイキングで余った食材をお手頃価格でテイクアウト出来たり、賞味期限が近い食材を小売店から割引価格で購入出来たりします。

ホテルでテイクアウトする場合は、アプリであらかじめ指定された時間にホテルに行き、自分の選んだ食材をパックに入れてもらいます。生ものなど一部の食材は対象外ですが、私が先日利用した際には、クオリティーの高い蒸し海老、ラムチョップなど好きな物を選ぶ事ができました。アプリに加盟する店舗は増加していますので、食品ロスを削減しながら、リーズナブルに美味しいものを楽しめる機会が増えそうです。

常陽銀行シンガポール駐在員事務所
現地スタッフ 関 順

【テイクアウト用のパック】



【筆者撮影】

【チャン・アンの景色と観光客】



【筆者撮影】



【ベトナム】～世界遺産「チャン・アン」～

チャン・アンは、ベトナムに8つある世界遺産の一つで、2014年にユネスコの世界文化・自然遺産に登録されました。首都ハノイから南に約100キロのニンビン省にあり、車で2時間程度の場所にあります。チャン・アンは50以上の洞窟や30以上の渓谷を有し、洞窟や渓谷を巡る観光クルーズが3ルートあります。観光客は好きなルートを選び、手漕ぎボートに乗って自然の景色を眺めることができます。

ハノイから日帰りで行ける有数の観光地ですので、ベトナム人だけでなく、日本人を含めた多くの外国人で賑わっています。チャン・アンに行く時期は晴天と涼しい時期が続く10月、11月頃がおすすめです。ハノイを訪れた際に、一度行ってみたいはいかがでしょうか。

常陽銀行ハノイ駐在員事務所
現地スタッフ グエン ティ トウイ

【タイ】～ APEC (アジア太平洋経済協力) の議長国～

11月18日および19日にAPEC首脳会議がバンコクのシリキット王妃国際会議場で開催され、タイは議長国を務めました。議長国として外務省をはじめ、商務省や他の政府機関が協力し、会議をスムーズに進行するために2020年から準備をしており、バンコク市内では至る所でAPECに関するポスターや旗が飾られていました。新型コロナウイルスが終息しないなかで経済回復を目指すため、新しいチャレンジがより多く、政府機関で会談が何度も行われ、様々なアイデアを集めた結果、今回のAPECのテーマは「Open・Connect・Balance」となりました。このテーマのもと、参加国の間で貿易を推進し、経済的な問題に対処していくことが確認されました。

APEC期間中はバンコク市内の警備も強化され、交通規制も敷かれるなどしましたが、無事に会期が終了しました。

足利銀行バンコク駐在員事務所
現地スタッフ ピンパーベン・サウィター

【デパートに飾られたAPECの広告】



【筆者撮影】

〈経済関係NEWS〉

シンガポール



(11/10) 7～9月の企業景況感、3四半期連続で低下
(11/18) 10月輸出が2年ぶりマイナス 中国向け不振、通年予測下方修正

マレーシア



(11/4) 中銀が4度目の利上げ、年2.75%に
(11/14) GDP成長率、7～9月は14.2%

タイ



(11/14) 1～9月の投資申請額4%減、FDIも25%減
(11/21) 3QのGDP成長率、4.5%に加速

インドネシア



(11/8) 7～9月GDP成長率5.72% 資源輸出好調で伸び加速
(11/18) 政策金利、5.25%に引き上げ 4会合連続、自国通貨の安定図る

フィリピン



(11/7) 消費者物価、10月7.7%上昇 14年ぶり伸び、台風とペソ安響く
(11/18) 中銀、0.75%大幅利上げ 政策金利5.0%に、約14年ぶり

ベトナム



(11/11) 金融市場で米ドルが不足、先行観強く
(11/18) 商業銀行の預金金利さらに上昇、最高は年9.75%

〈その他NEWS〉

シンガポール



(11/1) チャンギ空港利用者、コロナ前63%まで回復
(11/14) デジタル通貨決済、金融庁と米連銀が試験

マレーシア



(11/11) 40年に新車市場の4割EVに 政府方針
(11/17) 10月の新車販売、前年比6%減の6.1万台

タイ



(11/2) 7～9月の失業率1.2%、4期連続で改善
(11/17) 今年の国内旅行者数、2.8倍の1.5億人見通し

インドネシア



(11/2) 10月消費者物価、5.71%上昇 減速も2カ月連続5%超
(11/21) 23年の最低賃金、引き上げは10%以内に

フィリピン



(11/3) 入国制限、大半を撤廃 未接種でも隔離なし、4日から
(11/17) 10月新車販売42%増、8カ月連続伸び2桁

ベトナム



(11/2) デジタル経済成長率31%と予想、東南ア1位
(11/14) 10月新車販売は前月比9.3%増 4カ月連続、年末にかけ加速か

アセアン・インド休日情報

2022年12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5 TH	6	7	8 PH	9	10 TH
11	12 TH	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22 MM	23	24
IN MM ID						
25	26	27	28	29	30	31
MY PH SG SG	MY				PH	

2023年1月

日	月	火	水	木	金	土
MY PH						
MM 1 ID	2	3	4	5	6	7
SG CD IN VN JP TH			MM			CD
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20 VN	21
22	23 VN	24 VN	25 VN	26 VN	27	28
29	30	31				

2023年2月

日	月	火	水	木	金	土
			1 MY	2	3	4
5 MY	6 MY	7	8	9	10	11 JP
12	13	14	15	16	17	18 IN ID
19	20	21	22	23 JP	24	25 PH
26	27	28				

※ナショナルホリデーのみ掲載

出典：ジェトロ各国情報

※祝祭日名省略

JP 日本

MY マレーシア

TH タイ

SG シンガポール

PH フィリピン

VN ベトナム

IN インドネシア

MM ミャンマー

ID インド

CD カンボジア

めぶき F G アジアネットワーク (1)

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行 (中国)	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行 (中国)	●		
中国信託商業銀行 (台湾)	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行 (タイ)	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行 (タイ)	●		
バンクネガラインドネシア (インドネシア)	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMBニアガ銀行 (インドネシア)		●	
ヴィエティンバンク (ベトナム)	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行 (ベトナム)	●	●	
ベトナム外国投資庁 (ベトナム)	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDOユニバンク (フィリピン)	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 (フィリピン)		●	
インドステイト銀行 (インド)	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス (メキシコ)	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか (メキシコ)	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構 (JETRO)	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構 (JICA)	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行 (JBIC)	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険 (NEXI)	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損害保険ジャパン	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

めぶき F G アジアネットワーク (2)

◎めぶき F G 海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	10 Collyer Quay, # 09-07A, Ocean Financial Centre, Singapore, 049315 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心1901室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at EmQuartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL:+66-2-261-2852

